

科目名	看護解剖生理学Ⅰ (人体の基本構造)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1 年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	13 時間	担当 教員	武田 玲子
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、人体の基本構造と実際の解剖見学を通して学ぶ。						
到達 目標	1. 解剖学・生理学とはどういうものかを知る。 2. 人体を構成する基本的単位である細胞、組織、器官とは何かを学ぶ。 3. 各器官系の概要を知る。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～3	総論		解剖学、生理学とは、人体各部の名称、人体各部の位置や方向を示す用語			講義	武田
	人体の構成		細胞、組織、器官、漿膜と漿膜腔			講義	
4	解剖見学オリエンテーション		人体の器官系 解剖見学の方法、事前課題とグループ演習			講義 演習	
5～6	解剖見学		福岡大学病院 解剖見学			演習	
7	試験		(1 時間)			試験	
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門Ⅰ 人体のしくみと働き 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点	解剖見学においては、事前学習課題とグループワークを行い、見学目標を明らかにして臨む。						